城山公園再整備基本構想（案）

令和2年3月

城山公園再整備検討委員会

長野市

目　次

第1章　城山公園の基本構想

1　計画の背景・・・ 3

2　コンセプトと整備方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

3　ゾーニング・・ 6

4　ゾーニングのイメージ図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

5　交通の考え方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

6　防災の考え方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

7　段階整備の考え方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

8　管理運営の考え方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16

9　今後のスケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18

第2章　考え方の整理

1　前提条件・・・ 19

2　城山公園の施設別の方向性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19

3　基本的な考え方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20

4　現公園と基本構想の比較・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22

第１章 城山公園の基本構想

１ 計画の背景

城山（じょうやま）公園は、長野駅から北に２kmほどの場所に位置し、国宝善光寺の東隣に広がる面積約13haの本市の総合公園[1)]です。

明治33年に開設した市内で最古の公園であり、明治41年に開催された一府十県連合共進会をはじめとしてこれまで３度にわたって博覧会を開催するなど、文化産業の中心地としてにぎわいを見せてきました。

園内には噴水、プール、美術館、動物園、少年科学センター、テニスコートなど様々な施設があり、市民のレクリエーションの場となっています。

また、豊かな緑に囲まれた公園は、春は桜の名所としても知られており、四季を通じて市民の憩いの場となっています。

しかし、園内の多くの施設は老朽化や非耐震構造などの問題を抱えており、今後の公園施設のあり方について検討しなければならない時期を迎えています。

また、築50年を迎えた信濃美術館がこのほど全面改築することに伴って、同敷地の公園部分についても美術館と一体的な再整備に着手しています。

このように公園一帯の環境が変化していることを１つの契機として、公園の再整備に向けた計画を立てることとしました。

計画の策定にあたっては、これからの財政状況や少子高齢化に伴う人口構造の変化など、社会状況の変化がもたらす公園への影響を見据えながら、専門的かつ多角的に見直し作業を行うために、城山公園再整備検討委員会を組織して、公園づくりの土台となる基本構想をまとめます。

城山公園　2016年9月撮影

1) 総合公園とは、都市公園の一種で都市基幹公園に分類され、都市住民全般の休息、鑑賞、散歩、遊戯、運動等総合的な利用に供することを目的とする公園で、都市規模に応じて１箇所当たり面積10～50haを標準として配置します。

城山公園のかつてのシンボル 噴水と花時計

基本構想の内容

城山公園は長い年月をかけて現在の姿になっており、時代背景に合わせて多くの施設を整備していることから、公園内には種々の施設が点在しています。
そこで、公園の再整備に向けては、まずは基本となる公園の骨子をまとめて、再整備の道すじとなるような公園の目標像を明確に示します。

本基本構想（以下「本構想」という）では、50年先の将来を見据えた公園のコンセプトと整備方針を示すとともに、ゾーニング、交通、防災、段階整備、管理運営の考え方をまとめます。

２ コンセプトと整備方針

（１）コンセプト

文化と芸術と交流の杜

城山公園は開設からまもなく120年が経とうとしています。昔から人々を惹きつけてきた公園がこの先も 愛され 親しまれ、そして 誇れる公園として継いでいけるように、50年先を見据えたコンセプトを示します。

（２）整備方針

コンセプトをもとにして統一感のある公園づくりを行っていくために３つの整備方針を立ち上げます。

文化と芸術の創造

これまで文化的な活動の場としての役割を担ってきた経過から、これからも文化と教養を育む場とするとともに、信濃美術館と東山魁夷館を通じて芸術の拠点性を高めます。

主な取り組み　噴水広場、美術館、文化イベント、学びの場、野外彫刻

レクリエーション機能の充実

子どもからお年寄りまで誰もがいきいきと楽しく過ごせるような憩いの場とするとともに、善光寺に近い立地を活かして観光客も楽しめるような交流の場を提供します。

主な取り組み　交流施設、飲食ブース、多目的広場、ジョギングコース

みどり豊かな美しい公園の育成

公園内の樹木を大切に保全しながら豊かな緑を育てていくとともに、良好な景色と眺望を活かして善光寺周辺の景観と調和する美しい公園を造ります。

主な取り組み　大樹の育成、桜の育成、景観の醸成

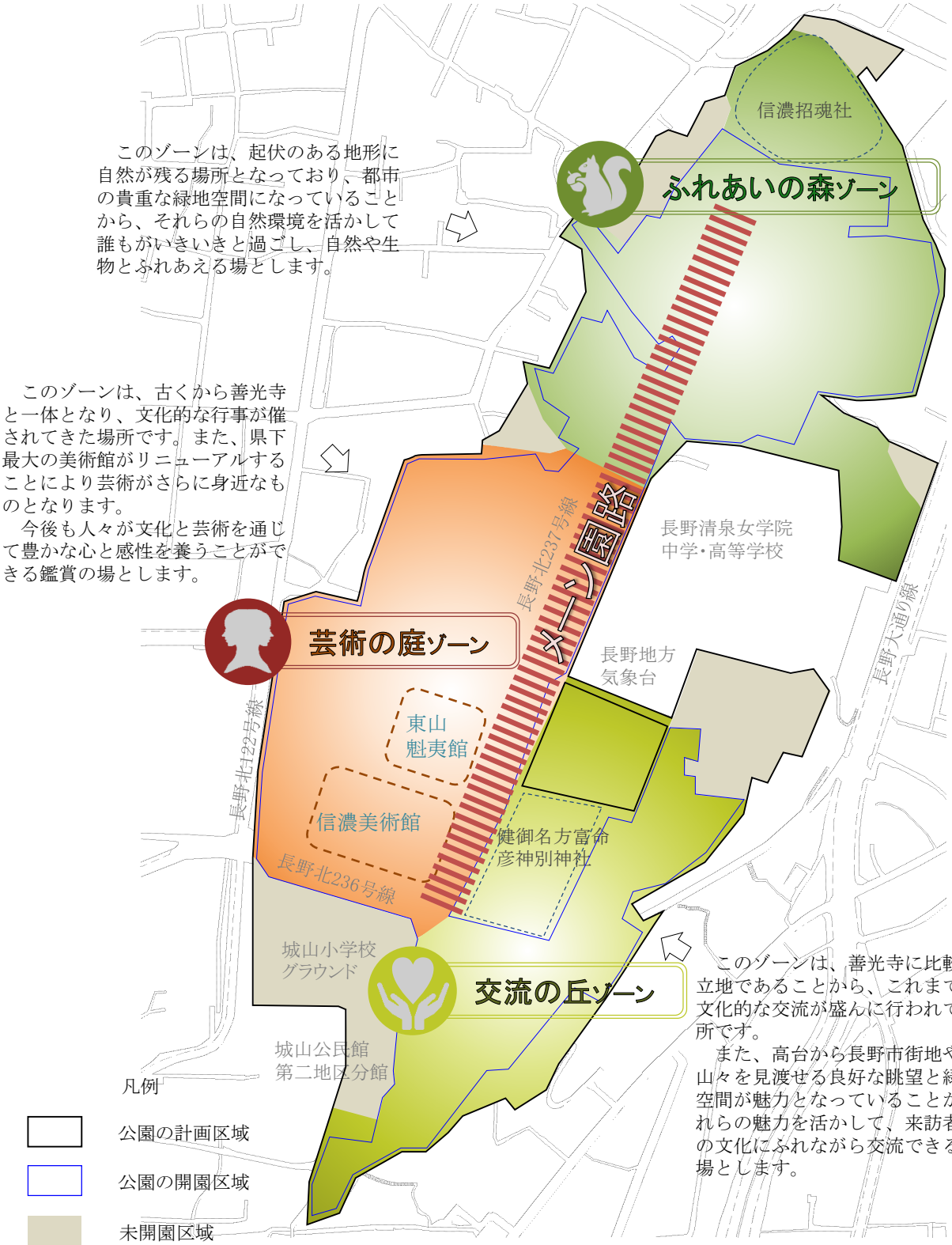
３つの強化項目

城山公園の再整備にあたって公園機能の強化項目を定めます。

・防災機能の強化
・駐車場の整備
・アクセス性の向上

3 ゾーニング

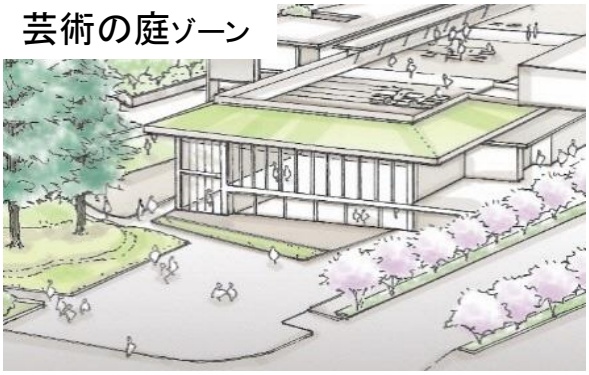
城山公園がもっている特徴や立地条件などを踏まえて、公園を３つの大きなゾーンに分けます。各ゾーンには整備方針に基づいたテーマを持たせて、そのテーマに沿った形で公園整備を進めていくことで、まとまりがあって利用しやすい空間をつくります。そして、公園の中心道路をメーン園路として位置付けて、３つのゾーンを結ぶことで公園としての一体感を高めます。

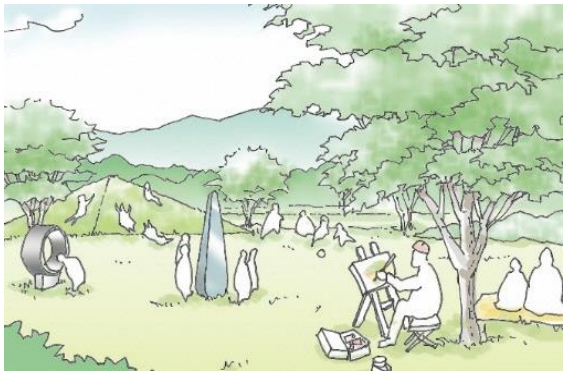


ふれあいの森ゾーン

≪想定施設のイメージ≫
・多目的広場
・動物ふれあい広場
・サイエンスの森
・屋内遊具施設
・飲食ブース
・散策路

芸術の庭ゾーン





≪想定施設のイメージ≫　美術館、噴水広場、文化の広場、屋外ステージ、野外彫刻

交流の丘ゾーン

≪想定施設のイメージ≫
・観光交流施設
・文化情報センター
・飲食施設
・休憩テラス
・見晴らし施設

メーン園路

桜で飾られたプロムナードは公園の中心軸となり、各ゾーンをつなぎながら公園の一体感を高めます。

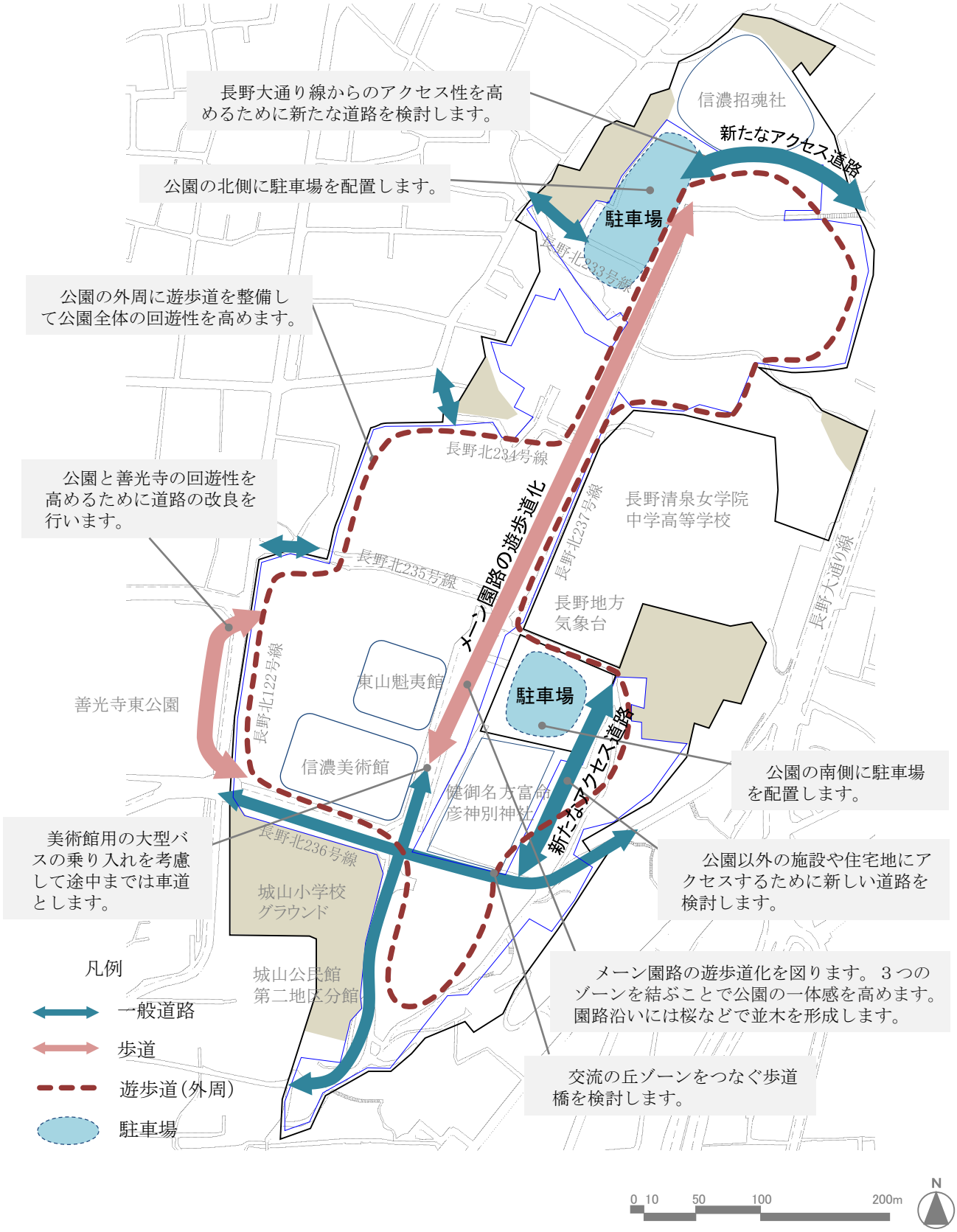
4　ゾーニングのイメージ図

交流の丘ゾーン

5 交通の考え方

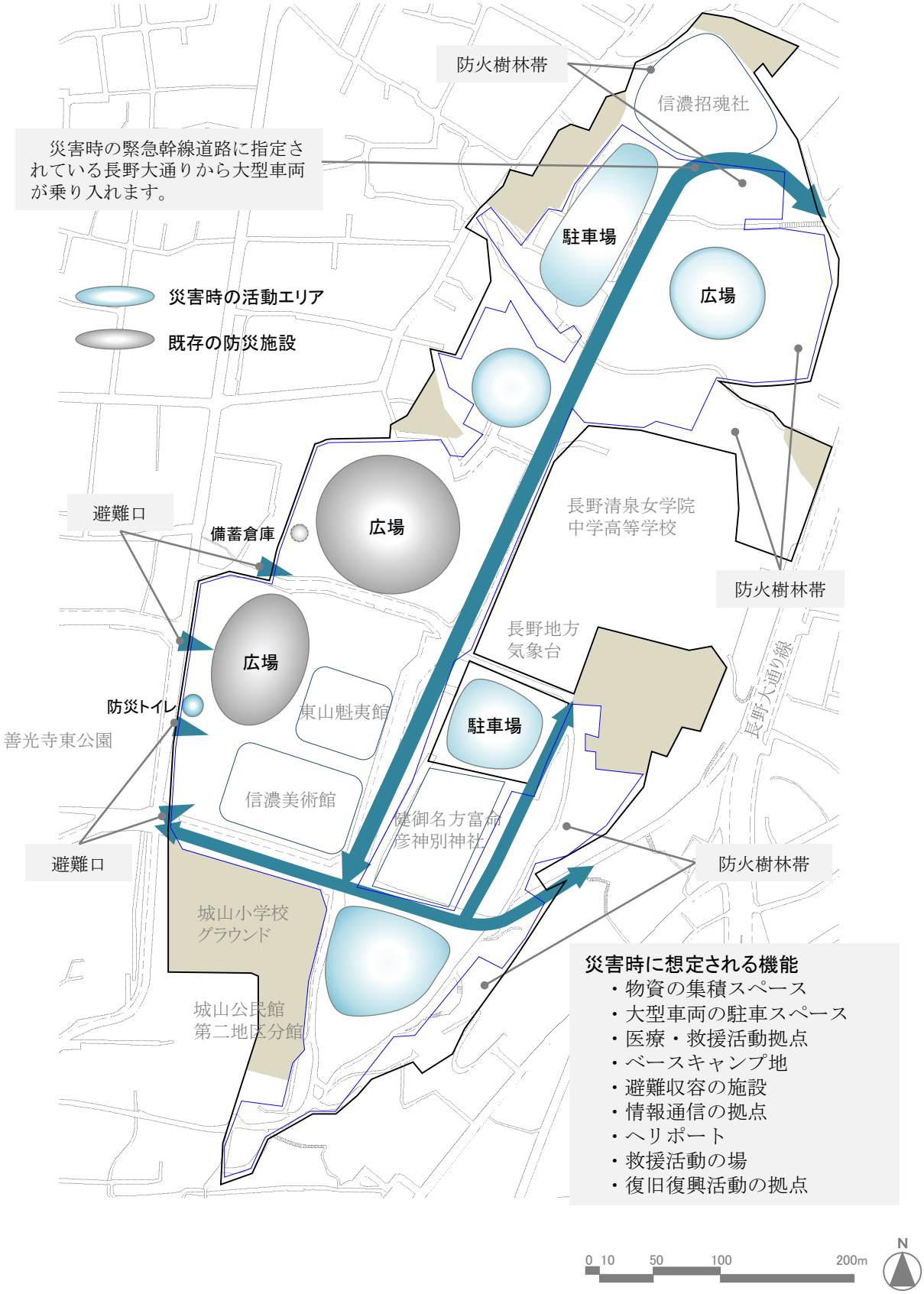
城山公園が抱えている交通上の課題としては、利用者の駐車場が不足していることと、公園内にある道路によって公園が分断されていることが挙げられます。これらの課題を解消するために交通体系の見直しを行います。

主な見直し内容としては、公園の北と南に新たなアクセス道路と駐車場を配置し、さらには公園の中心を通っている道路をメーン園路に位置付けて遊歩道化を図ります。



6 防災の考え方

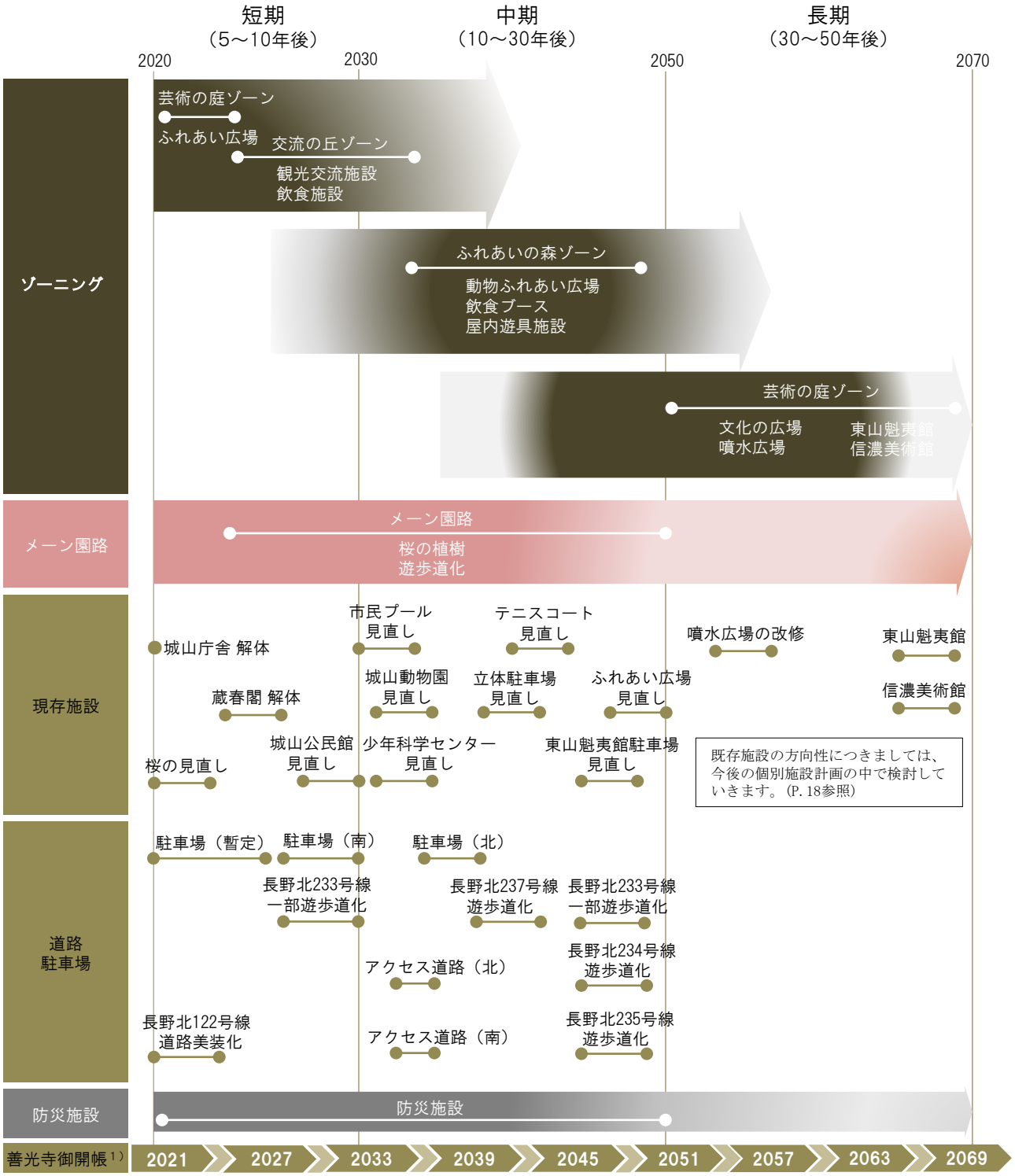
城山公園とその周辺は、長野市地域防災計画によって広域避難地に位置付けられていることから、広域避難地として想定される防災施設と、災害時に利用可能となるエリアの整理をします。



7 段階整備の考え方

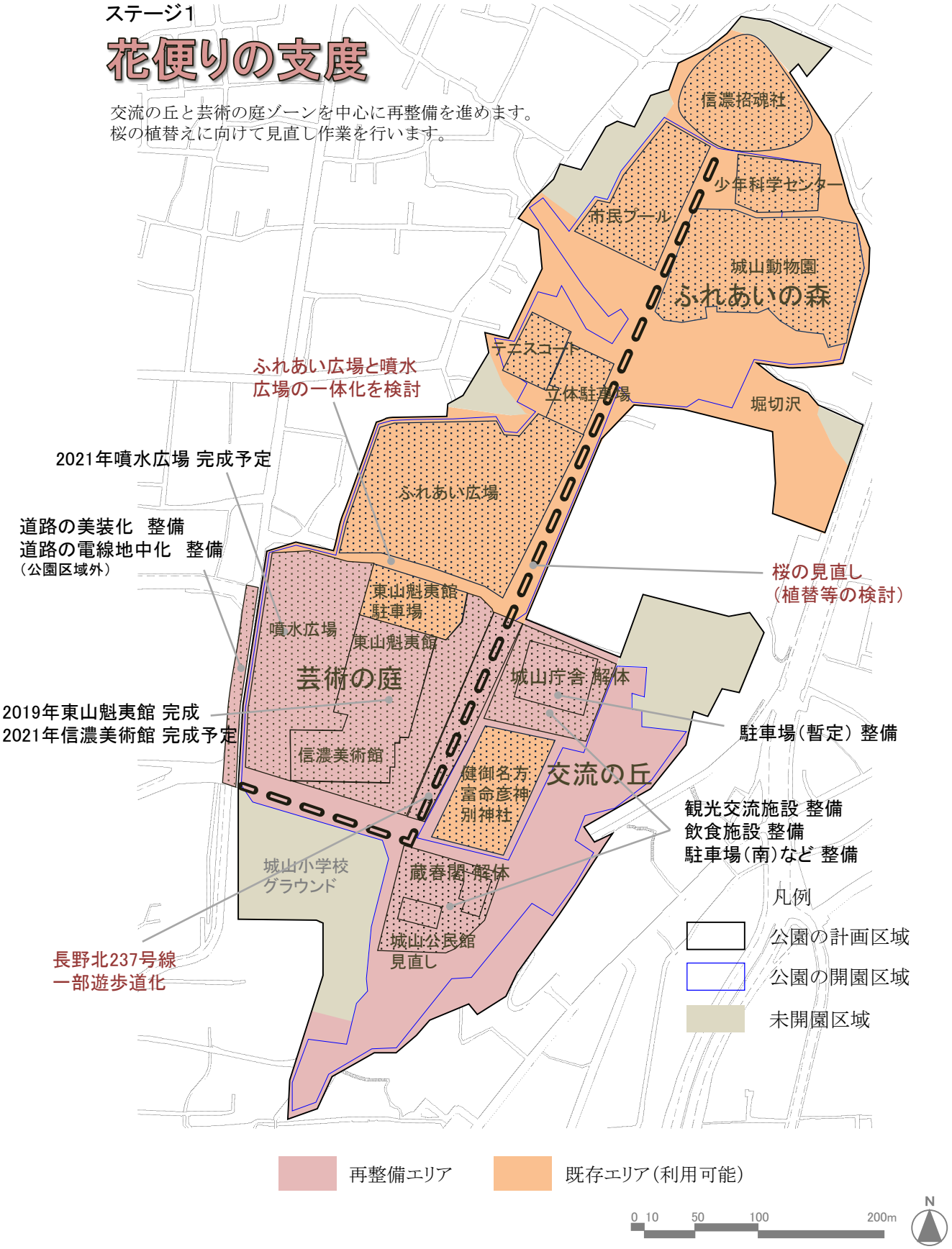
公園内にある施設は整備された時期が異なっているため、更新の時期を段階的に迎えることになります。したがって、一斉に再整備に取り掛かるのではなく段階的に着手していく必要があります。

そこで、現存施設の残耐用年数や新たな整備の優先度に着目して全体期間を３つに分割し、各段階において公園として有すべき機能を保持しながら順次整備していきます。



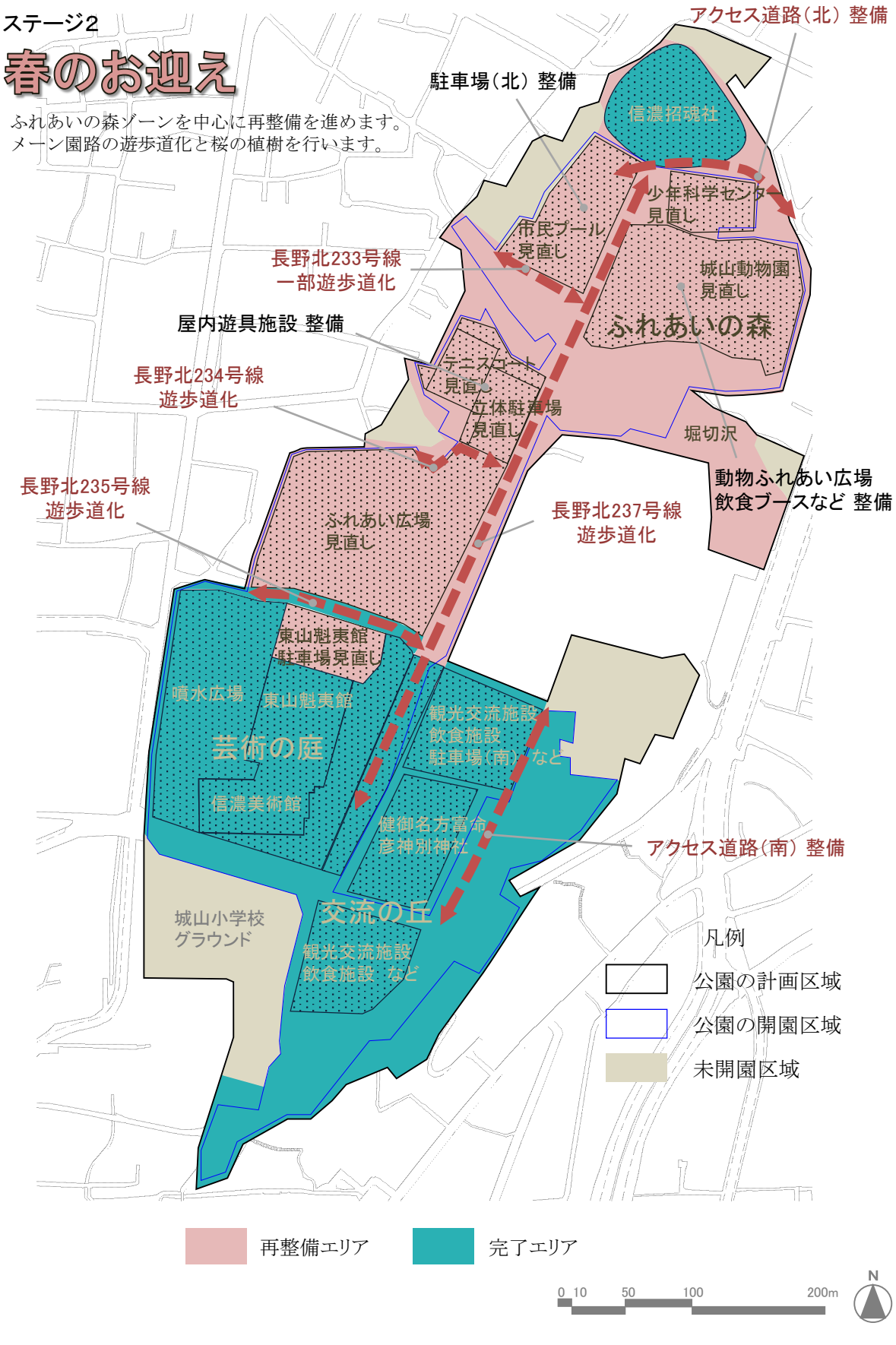
1) 善光寺御開帳とは、数え年で７年に一度行われる盛儀で、秘伝である御本尊の御身代わり「前立本尊」を本堂にお迎えし、約２ヶ月にわたって行う荘厳な行事です。これまで城山公園は、善光寺御開帳に時期を合わせるように整備事業を行ってきており、今後も整備時期の目安としていきます。

短期（5～10年後） イメージ図

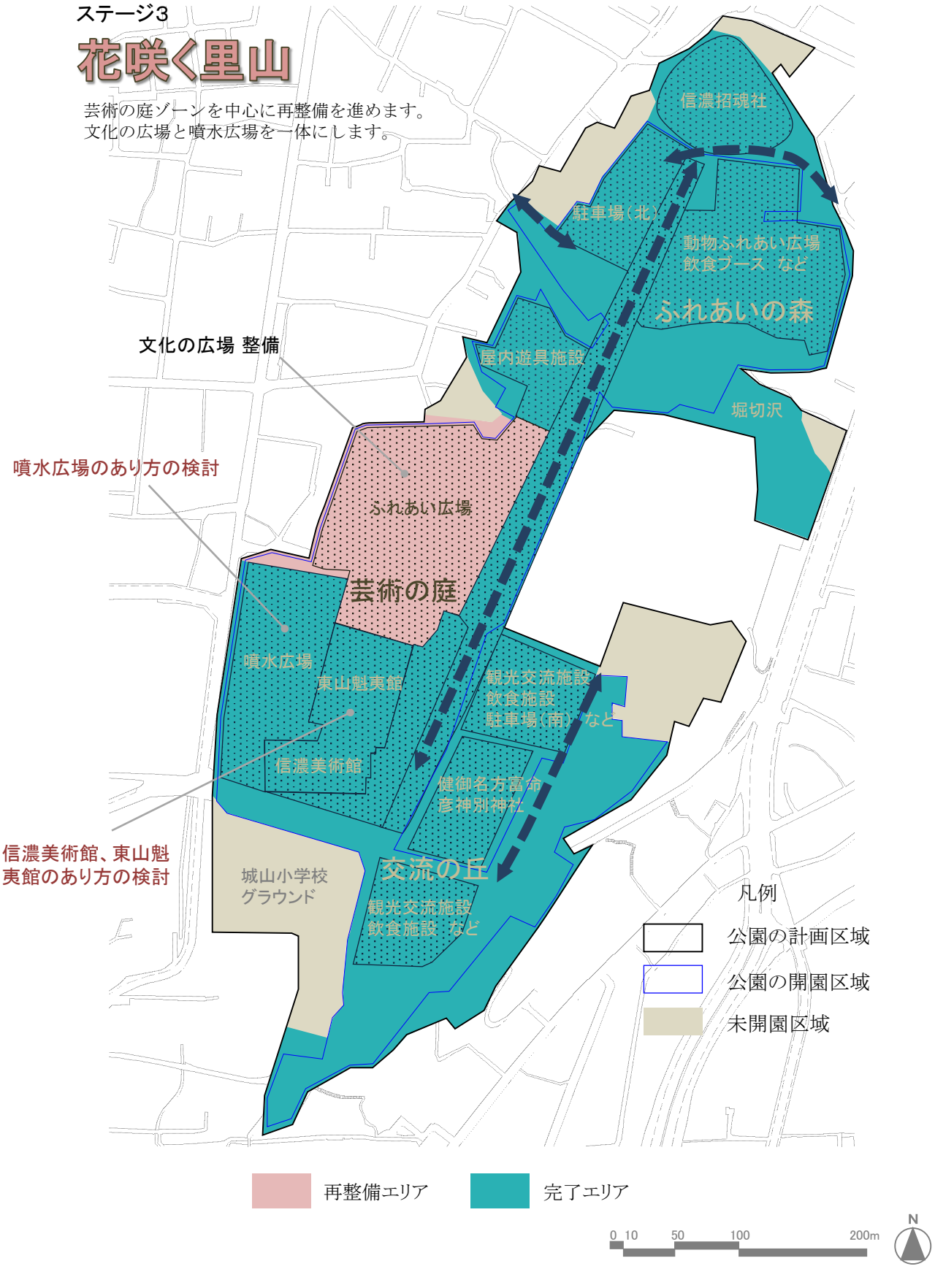


中期（10～30年後） イメージ図

社会情勢の変化や公園ニーズを踏まえながら中間地点において見直しを行います。



長期（30～50年後） イメージ図



8 管理運営の考え方

城山公園は、段階的に事業に着手していくことから事業完了までに長期間を要することとなり、本構想を継続的に実施していくためには、管理運営についても同時に検討する必要があります。

そこで、管理運営を、保全、利活用、運営の３つに分けて考え方をまとめます。

（１）保全

①自然環境の保全

公園内の緑地は、中心市街地に残っている貴重な自然環境であることから、地域の里山としての機能を付加しながら、信濃招魂社や健御名方富命彦神別神社の社寺林とともに既存の樹木を積極的に保全していきます。

②景観の保全

城山公園の景観を守り育てていくために、善光寺を中心とした歴史的な景観と、周囲の山々からなる自然景観の両方に調和していくことが大切となります。彩り豊かで四季を感じる樹木の育成や、桜の名所としての景観を保全します。

（２）利活用

①イベントの提供

公園の空間を有効に使って集客力の高い文化的イベントや体験プログラム等を計画して、公園全体のにぎわいを創出します。

②関連施設との連携強化

隣接する善光寺の参拝者を誘客するために行催事の連携を図ります。また、信濃美術館との連携を強化します。

・善光寺御開帳、びんずる市などと連携
・芸術の祭典など連携プログラムの推進

（３）運営

①城山公園再整備協議会(仮称)の設立

本構想を継続的に実施していくために、事業化に向けた検討組織を設立します。ここでは整備内容を検討するほか、管理運営に関することについても協議します。

行政、市民、専門家が連携することにより、公園の長期構想を一元的に推進することが可能となり、公園全体の統一感を高めることができます。

②運営体制の再構築

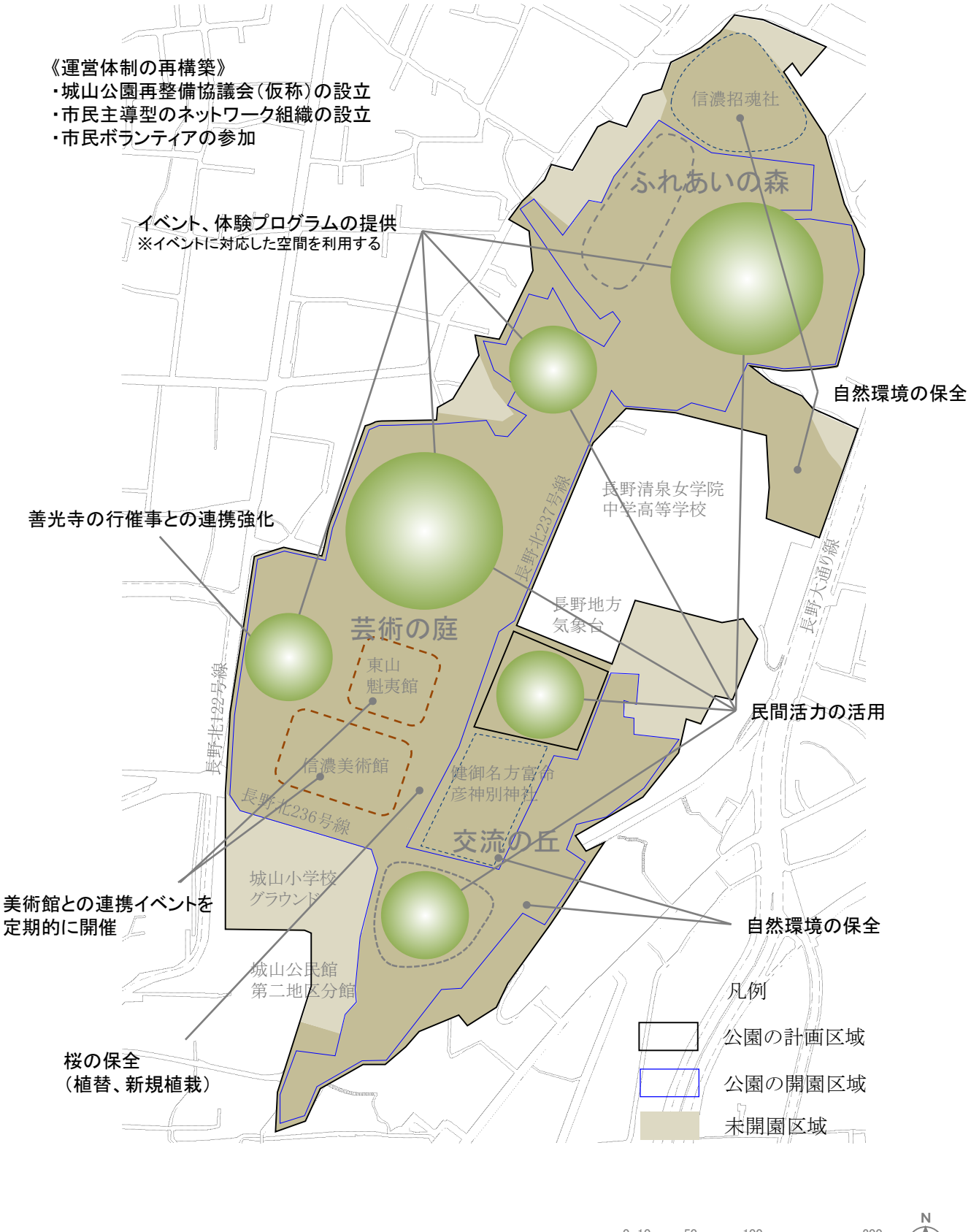
近年では公園の運営に民間活力を導入する動きが高まっています。本構想を実現するためには、民間のノウハウを活用した公園管理の効率化や公園施設の集約・複合化などを図りながら公園を取り巻く環境の変化に対応した管理運営を行うことが不可欠になります。

さらには、市民による事業参加を促進させるために行政と協働による市民主導型のネットワーク組織を構築することで、地域と一体となって持続可能な管理体制を整えます。

・民間活力（Park-PFI制度[1)]など）を積極的に活用
・市民主導型のネットワーク組織の設立
・市民ボランティアの参加（桜の管理や案内ガイドなど）

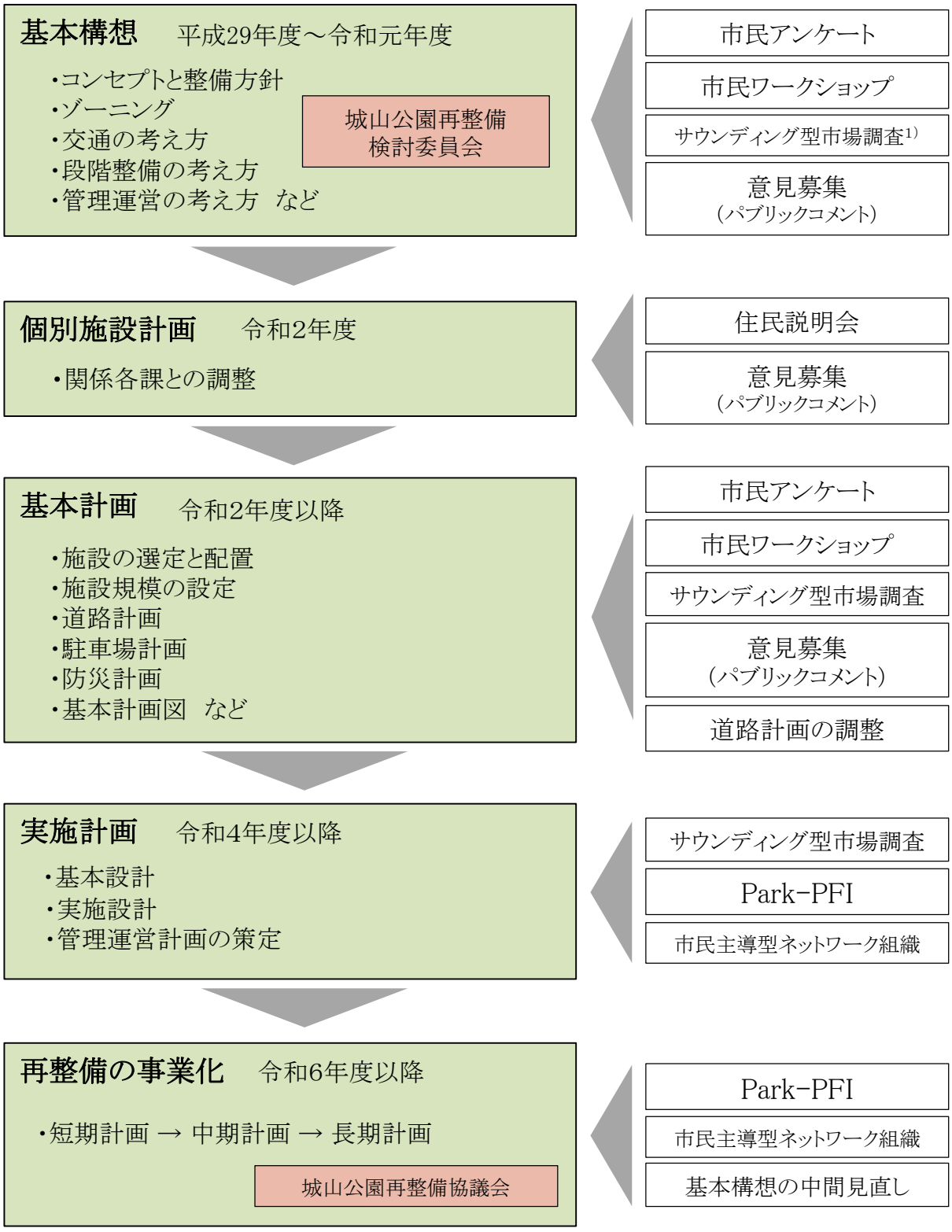
[1)] Park-PFI制度とは、平成29年の都市公園法改正により新たに設けられた制度で、飲食店や売店等の公園利用者に利便の向上に資する公募対象公園施設の設置と、当該施設から生じる収益を活用してその周辺の園路、広場等の一般の公園利用者が利用できる特定公園施設の整備、改修等を一体的に行う者を公募により選定する公募設置管理制度です。

管理運営の考え方　イメージ図



9 今後のスケジュール

本構想から再整備の事業化までのおおまかな流れは次のとおりです。



1) サウンディング型市場調査とは、市有地などの有効活用に向けた検討にあたって、その活用方法について民間事業者から広く意見や提案を求めて、対話を通じて市場性等を把握する調査です。

第２章　考え方の整理

１　前提条件

（１）本構想の検討範囲は、公園の開園区域としますが、公園の機能上で検討が必要な場合は未開園区域も含めるものとします。
（２）長野市緑を豊かにする計画（平成31年４月改定）では、市全体の都市公園の見直しを行うことを計画しているため、その中で城山公園の計画決定の範囲を検討します。
（３）公園の道路交通については、市街地交通網に影響することから、本構想では公園範囲内を対象とします。
（４）関係各課で検討している公共施設マネジメント[1)]の方向性を踏まえて検討します。
（５）長期構想となることから中間年次において本構想の見直しを行うこととします。

２　城山公園の施設別の方向性

城山公園の施設別の方向性は次のとおりです。この方向性に基づいて、令和２年度に策定予定となっている個別施設計画の中で各施設の在り方を具体化していきます。

施設名	担当部局	方向性　（令和元年12月23日現在）
城山公園全体	公園緑地課	・本構想の考え方に基づき担当部局で方向性を判断する。 ・基本構想策定　令和元年度中
城山動物園	公園緑地課	・本構想の考え方に基づき担当部局で方向性を判断する。 ・公共施設等総合管理計画「公園一帯の再整備検討の中で在り方を検討する」
市民プール	スポーツ課	・本構想の考え方に基づき担当部局で方向性を判断する。 ・統廃合第二期において北部か城山のどちらかを存続させる。
テニスコート	スポーツ課	・本構想の考え方に基づき担当部局で方向性を判断する。
少年科学センター	家庭地域学びの課	・本構想の考え方に基づき担当部局で方向性を判断する。 ・長野市青少年健全育成審議委員会で検討する。
ふれあい広場	公園緑地課	・本構想の考え方に基づき担当部局で方向性を判断する。
噴水広場	公園緑地課	・公園の解体　平成31年４月から ・公園の整備　平成31年４月から令和２年度末まで
信濃美術館 東山魁夷館	長野県	・建物の解体　平成31年３月末まで ・改築の工事　平成31年４月から令和２年12月まで
蔵春閣	家庭地域学びの課	・本構想の考え方に基づき担当部局で方向性を判断する。 ・閉館　平成30年３月31日 ・取り壊し時期は未定（解体は決定）
城山公民館	家庭地域学びの課	・本構想の考え方に基づき担当部局で方向性を判断する。 ・耐震化済み　明確な予定はない
城山分室 （公園区域外）	庶務課	・本構想の考え方に基づき担当部局で方向性を判断する。 ・建物の解体　令和元年11月から令和２年６月頃まで ・暫定駐車場の整備期間　令和２年7月頃から令和２年度末まで
立体駐車場	公園緑地課	・本構想の考え方に基づき担当部局で方向性を判断する。

[1)] 公共施設マネジメントとは、公共施設の現状と課題を踏まえ、施設保有量の適正化や長寿命化など、公共施設を適正に維持管理し、有効活用を図る取り組みである「公共施設マネジメント」にかかる基本的な考え方や取り組みの方向性をまとめたものです。

3 基本的な考え方

城山公園の歴史や現状や課題を洗い出す中で、再整備の基本的な考え方を整理し、城山公園のコンセプトをまとめます。

公園の歴史的な特徴

項　　目	内　　容
知名度が高い	城山動物園、少年科学センター、蔵春閣など幅広い世代に利用される。
シンボル性	本市で最も古い公園で、噴水は100年以上の歴史がある。
情報の発信地	市民の集会や交流の場として使われてきた。
芸術の発信地	信濃美術館と東山魁夷館があり県内外から訪れている。 野外彫刻が設置されている。
展望が良い	蔵春閣の屋上からの眺望は良好である。
自然環境	信濃招魂社、健御名方富命彦神別神社や堀切沢には豊かな自然がある。
桜の名所	園内道路沿いに桜並木が整備され、桜の名所となっている。
レクリエーション	城山動物園や市民プール、芝生広場などが整備される。
科学と生物	少年科学センターや城山動物園、ホタル水路が整備される。
健康増進	テニスコート、野球場、バレーボールコートなどが整備された。
おもてなしの場	かつては貴賓館があって、おもてなしの場として使われていた。

現状の課題　（市民アンケート、市民ワークショップの意見より）

項　　目	内　　容
施設の老朽化	公園内施設の老朽化、非耐震化　桜の老木化
道路による分断	一般車の通行による利用者の安全確保が課題
アクセスが不便	公共交通機関や主要道路からのアクセス性が低い。
駐車場不足	休日を中心に駐車場が不足、大型バス専用の駐車場がない。
動線の混在	公園の公共動線と居住者の生活動線が混在している。
魅力の不足	公園周辺での利用者の滞在時間が短い。

コンセプト

文化と芸術と交流の杜

公園にある顕在的なポテンシャル

項　　目	内　　容
立地と眺望	・参拝者が年間600万人を超える国宝善光寺に隣接している。 ・川中島の戦いで上杉謙信が陣を置いた地として知られており、市街地や山々を一望できる高台に位置する。
豊かな自然	・昔は公園一帯が里山であったことから豊かな自然が残る。
シンボル性	・公園周辺は文化の中心地でシンボル的な場所となっている。 ・城山公園は多くの世代に利用されており愛着がある。

公園にある潜在的なポテンシャル

項　　目	内　　容
サウンディング調査	・賑わいの創出のための新たな収益施設の市場性の有無 ・利用者ニーズに応じた新たな活用アイデアの聴取など

上位関連計画における城山公園の位置付け

項　　目	内　　容
長野市都市計画 マスタープラン	・都市の貴重な緑地空間の保全 ・広域的な文化、芸術、レクリエーション、防災の拠点 ・城山公園一帯の自然環境を活用
長野市 緑を豊かにする計画	・文化、芸術、レクリエーション ・防災拠点として活用 ・桜の名所となる景観の保全 ・ﾕﾆﾊﾞｰｻﾙﾃﾞｻﾞｲﾝや防犯に配慮した誰もが安全で安心な公園
長野市地域防災計画	・広域避難地に指定、重要な防災拠点
長野市観光振興計画	・善光寺界隈の周遊コンテンツを開発　滞在時間を延ばす ・善光寺～城山公園～信濃美術館の周遊促進
第二次長野市環境基本計画	・豊かな自然環境の保全 ・低炭素社会の実現

※城山公園は上記関連計画のほか、ＳＤＧｓ[1)]の理念に基づいた公園計画を立てていきます。

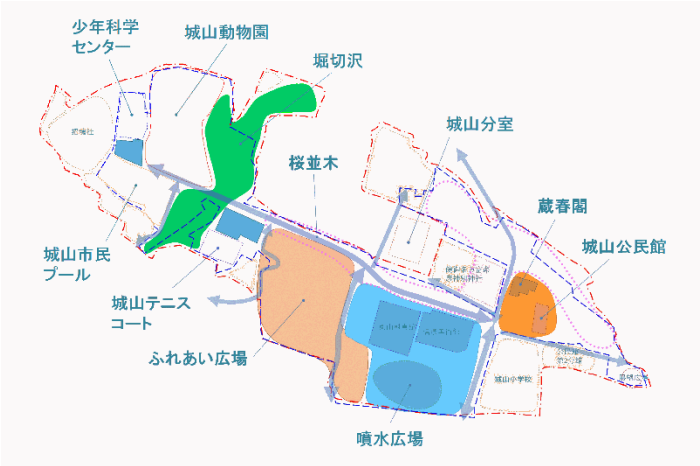
■コンセプトの意義

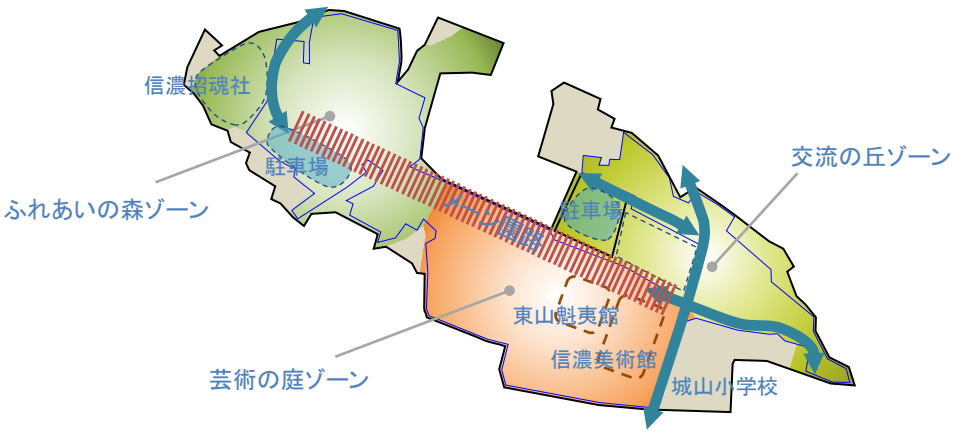
歴史や文化を伝える
- ・先人が築いてきた公園への思いを次の世代に繋げていく。
- ・信濃美術館と善光寺とともに文化芸術の拠点としていく。
- ・身近な憩いの場、集いの場、レクリエーションの場とする。

公園の目標像
- ・50年先の公園の将来像を見据える。

[1)] SDGsとは「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称です。SDGsは平成27（2015）年9月の国連サミットで採択されたもので、平成28（2016）年～令和12（2030）年の15年間で達成するために掲げた国際目標です。17の大きな目標と169のターゲットで構成されています。

4 現公園と基本構想の比較

現公園		
コンセプト		—
ゾーニング 交通の考え方		
機能	芸術観賞	信濃美術館、東山魁夷館、野外彫刻
	交流	蔵春閣、城山公民館
	遊び	ふれあい広場、噴水広場
	学び	城山動物園、少年科学センター
	展望	—
	ふれあい	ふれあい広場 城山動物園
	自然保全	東の斜面林 堀切沢 桜並木
	スポーツ	テニスコート 市民プール
駐車場		立体駐車場、少年科学センター駐車場、公民館駐車場、 ふれあい広場身障者駐車場、東山魁夷館駐車場
交通		園内に車の動線と歩行者の動線が混在

<table>
<tr><th colspan="4">基本構想</th></tr>
<tr><td colspan="2">コンセプト</td><td colspan="2">「文化と芸術と交流の杜」</td></tr>
<tr><td colspan="2">ゾーニング
交通の考え方</td><td colspan="2"> 
</td></tr>
<tr><td rowspan="7">機
能</td><td>芸術観賞</td><td>芸術の庭ゾーン</td><td>・芸術を通じた観賞機能を強化する。
・県を代表する美術館があり、多様な芸術に触れることができる。</td></tr>
<tr><td>交流</td><td>交流の丘ゾーン</td><td>・交流の機能を継承していく。
・文化的な活動をしながら来訪者が交流する。</td></tr>
<tr><td>遊び、学び</td><td>ふれあいの森ゾーン</td><td>・遊び、学び系の機能を維持する。
・開放感あふれる空間のなかで自然や動物と触れあえる。
・科学や生物に触れあえる。</td></tr>
<tr><td>展望</td><td>交流の丘ゾーン</td><td>・良好な景観が望める機能を強化する。
・緑が豊かな環境のなかで、周辺の山々や市街地が眺望できる。</td></tr>
<tr><td>ふれあい</td><td rowspan="2">ふれあいの森ゾーン
交流の丘ゾーン</td><td>・ふれあい（人・動物）系の機能を維持する。
・２つのゾーンでふれあい機能を分担する。</td></tr>
<tr><td>自然保全</td><td>・自然環境を維持する。
・２つのゾーン内で自然環境保全の機能を分担する。</td></tr>
<tr><td>スポーツ</td><td>ー</td><td>・コンセプトをもとに園外へスポーツ機能の統合を検討する。
・北部スポーツレクリエーションパークと昭和の森公園へ集約を検討する。</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">駐車場</td><td colspan="2">・園内交通を考慮して、公園の北側に１箇所設ける。</td></tr>
<tr><td colspan="2">・必要に応じ、「交流の丘ゾーン」（城山庁舎）の敷地に検討する。</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">交通</td><td colspan="2">・自動車動線を制限するために既存の車道を公園の軸線として有効活用する。
・長野大通りからのアクセス道路を追加して、緊急災害時の対応を強化する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">・関係車両等のアクセス路を新設（神社東側）</td></tr>
</table>

information

発行　長野市
編集　長野市都市整備部公園緑地課
〒380-8512　長野市大字鶴賀緑町1613番地
直通電話（026）224-7284

ファクシミリ　（026）224-5111
電子メール　kouen@city.nagano.lg.jp
ホームページ　http://www.city.nagano.nagano.jp/soshiki/kouen/